

今月の推薦句

山田真砂年

弾き終へて少年の笑み雛祭	岩本尚子
髪切つて大きな影の初つばめ	今村博子
人柱めくや落花の渦にゐて	大坪正美
春雷や客の残せしカステイラ	小見戸 実
春の雷貼り紙剥がしゆくやうに	沼田布美
紫木蓮あとは剥がれてゆくばかり	中村かりん
駐車場の増えゆく街や花の屑	飛田小馬々
背の山に鳥つどひたる寝釈迦かな	槍田良枝
落椿つばきのほかは真昼かな	伊藤 翠
剪定の梯子に括りウオークマン	植松深雪
春水や長持唄を先頭に	牧園 賀
てのひらに世界のニュース黄砂降る	池田美和
八重桜少し遅れて笑ふ人	國益悦子
詰襟にまだ首ほそし入学す	浜田優子
陽炎の中を飛び出すアドバルーン	上田信隆
月影てふ緑帯びたる白き梅	滝代文平
行く春の人影に開く自動ドア	久保千恵子
古稀の師の傘寿の弟子や初桜	高田 峰
集合の笛やブランコ揺れてゐる	司 まや
オムレツのふつくら焼けて初音かな	今井恵子
春嵐猫鞠のごと過りたり	永井三枝
よく喋る男に桜薬降りぬ	池田角之助
銃持たず来し手には杖昭和の日	高原貞夫
時の日や嬉しい時も涙出る	今井 基
鎮静剤切れて薊のごとき我	東 晶
草叢にタンポポ一花投票日	大和田美和子
雉鳴けり真昼の谷を貫きて	林 恵美子
春ぬくし億劫な足の爪切る	相馬ゆう子
軽トラにひらひら揺れる蒔萩草	堀 潤子
てきぱきと新リーダーや山椒の芽	くぼ六茶
海開き禰宜の袂は風孕む	石関二三子